

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 金山 博 副委員長 榊 剛史・嶋田和孝
幹事 渡辺靖彦・東中竜一郎 幹事補佐 吉田光男・小早川 健

★音声研究会 (SP)

専門委員長 山下洋一 副委員長 森 大毅
幹事 西田昌史・坂野秀樹 幹事補佐 橋本 佳・小橋川 哲

◎本研究会は参加費が必要になりますので、下記を御参照下さい。

https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/About_ISS_trial.html

◎本研究会はNLC研究会/IPSJ-NLとSP研究会/IPSJ-SLPの併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月20日(水) 9:55~18:20

21日(木) 9:30~18:15

22日(金) 10:00~16:00

会場 早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム研究開発センター(新宿区早稲田町27, 東京メトロ東西線; 早稲田駅下車, 徒歩1分。 <https://www.waseda.jp/inst/gcs/access/> 菊池英明)

議題 第4回自然言語処理シンポジウム&第19回音声言語シンポジウム

第4回自然言語処理シンポジウム

20日午前 教育・応用

1. 国語教科書における使用状況から見た日本語教育のためのオノマトペ
○岡谷英夫(国学院大)・沢 恒雄(遊工学研)
2. 司法試験自動解答の国際コンテスト型ワークショップ COLIEE と法律文書処理
○狩野芳伸(静岡大)・佐藤 健(NII)
3. 文法誤り訂正の文単位評価におけるリファレンスレス手法の評価性能
○浅野広樹(東北大)・水本智也(理研)・乾健太郎(東北大)
4. 早押しクイズ問題集を用いたオープンドメイン質問応答データセットの構築
○鈴木正敏・松田耕史(東北大)・岡崎直観(東工大)・乾健太郎(東北大)

20日午後 抽出・知識獲得(13:30~)

5. 分野特有の教師なし固有表現認識 ○友利 涼・森 信介(京大)
6. 教師なし系列マッチング ○和田崇史(NAIST)・岩田具治(NTT)
7. Examining Macro-level Argumentative Structure Features for Argumentative Relation Identification
○栗林樹生(東北大)・Paul Reisert(理研)・井之上直也・乾 健太郎(東北大)

国際会議報告

- NLC-8. [依頼講演] 国際会議 EMNLP2017 参加報告(1) 鍛冶伸裕(ヤフー)
NLC-9. [依頼講演] 国際会議 EMNLP2017 参加報告(2) 橋本和真(東大)
NLC-10. [依頼講演] 国際会議 IJCNLP2017 参加報告(1) 光田 航(NTT)
NLC-11. [依頼講演] 国際会議 IJCNLP2017 参加報告(2) 人見雄太(朝日新聞)

応用

12. プロフィール情報を用いたテキストの視点分類 ○吉田 稔・松本和幸・北 研二(徳島大)
- NLC-13. 強化学習による車載器への命令発話文解析の試み ○徳久雅人・木村周平(鳥取大)
- NLC-14. PMI と Pagerank に基づいた文書要約技術を用いた感情分析
○安藤 暁・腹 紳・渡辺信一(宇都宮大)

21日午前 ブースターセッション

ポスターセッション

- NLC-1. 雑談対話システムにおける自動生成された発話文の拡張方法の検討
○角森唯子(NTT ドコモ)・東中竜一郎(NTT)・吉村 健・磯田佳徳(NTT ドコモ)
- NLC-2. Kyutech コーパスを対象とした対話行為推定 ○日野優登・山村 崇・嶋田和孝(九工大)
- NLC-3. シズルワードから想起される料理の雑学を話す対話システム ○新名和也・嶋田和孝(九工大)
- NLC-4. HPSG 構文解析を利用した化学正誤問題の自動解答 ○豊辻宏旨・古瀬弘樹・松崎拓也・佐藤理史(名大)
5. 前方文脈を考慮した冠詞推定における新聞記事コーパスの選択 ○宮野悠馬・水井啓太・河合敦夫(三重大)
 6. 対話行為予測に基づいたレファレンスインタビューのモデル化とその分析
○河野誠也・吉野幸一郎・鈴木 優・中村 哲(NAIST)
 7. 構成要素を考慮した論文の分散表現に基づく類似論文検索 ○小林雄太・松本裕治(NAIST)

8. 日英中機械翻訳における自動評価の研究 ○月出絵里香・高岡詠子（上智大）
9. Wikipedia における複数言語空間の相関について検討 ○ダオ ヴァン トゥアン・佐藤 浩（防衛大）
10. 文章自動生成における主な手法と独自性に関する検討 太田博三（放送大）
11. 口コミサイトにおける評価済みレビューを用いた評価無しレビューの評価 岡部将之（宇都宮大）
12. 口コミ内の NG ワードの自動検知方法に関する研究 柿田秋祐（宇都宮大）
13. 深層学習による日本語の自由文からの情報の抽出
○大北 剛（九工大）・山下貴範・野原康伸（九大）・井上創造（九工大）・廣川佐千男・中島直樹（九大）

招待講演

14. [招待講演] 自分の判断を説明できる自然言語処理システムを目指して 関根 聡（理研／ニューヨーク大）

第 19 回音声言語シンポジウム

21 日午後 ポスターセッション（12：50～）

SP-1. 発話の分散表現に基づく雑談音声対話システムの応答種別選択

○太田健吾（阿南高専）・西村良太・北岡教英（徳島大）

SP-2. DNN 適応に基づく非可聴つぶやき認識用話者・環境依存音響モデルの構築

○野田聖太・林 知樹・戸田智基・武田一哉（名大）

SP-3. 雑音環境下における音声理解度向上に向けた音声波形加工手法の評価

○武山知弘・小林和弘・戸田智基・武田一哉（名大）

SP-4. LSTM を用いた音響信号からの擬音語生成 ○井川翔太（東大）・柏野邦夫（東大／NTT）

SP-5. 音源の周期性を表す指標の実時間分析と表示について ○河原英紀（和歌山大）・榊原健一（北海道医療大）

6. 感情音声データベース JTES を用いた感情音声認識におけるモデル適応の性能向上の検討

○相澤佳孝・小坂哲夫・加藤正治（山形大）・能勢 隆（東北大）

7. Analyzing the impact of including listener perception annotations in RNN-based emotional speech synthesis

○Jaime Lorenzo-Trueba・Gustav Henter・Shinji Takaki・Junichi Yamagishi（NII）

8. CycleGAN を用いた高品質なノンパラレル声質変換 ○房 福明・山岸順一・越前 功（NII）

9. Investigation of Twitter conversation modeling based on Seq2Seq network for DSTC6 task

○Bairong Zhuang・Wenbo Wang・Zhiyu Li・Chonghui Zheng・Takahiro Shinozaki（Tokyo Inst. of Tech.）

10. 英語学習者の発声自動評価を目的とした DNN 音声認識システムの検討 ○加藤 拓・篠崎隆宏（東工大）

オーガナイズドセッション：音声言語情報処理が切り拓く新しい情報社会

SP-11. [招待講演] Exploiting redundant coding of message information in machine recognition of speech

Hynek Hermansky（Johns Hopkins Univ.）

SP-12. [招待講演] 未定 Hermann Ney（RWTH Aachen Univ.）

13. [招待講演] The Role of Prosody in Social AI Mari Ostendorf（Univ. of Washington）

14. [招待講演] Recent advances of exemplar-based sparse representation for voice conversion

Haizhou Li（National Univ. of Singapore）

15. [パネル討論] Speech research in AI era

パネラー：Michiel Bacchiani（Google）・Najim Dehak・Shinji Watanabe（Johns Hopkins Univ.）

スペシャル聴講ゲスト：Haizhou Li（National Univ. of Singapore）・Hermann Ney（RWTH Aachen Univ.）・Hynek

Hermansky（Johns Hopkins Univ.）・Mari Ostendorf（Univ. of Washington）

司会：Satoshi Nakamura（NAIST）

22 日午前 音声認識

1. テンソルトレインと系列知識蒸留による End-to-End 自動音声認識のモデル圧縮

○森 巧磨・Andros Tjandra・Sakriani Sakti・中村 哲（奈良先端大）

2. 敵対的学習を適用した End-to-end 音声認識 ○増田高志・齋藤大輔・峯松信明（東大）

SP-3. 距離画像センサから得た話者位置に基づくウェーブレット解析を用いた複数人同時発話音声認識のための音源分離手法 ○上原信洋・今村弘樹・池城和夫（創価大）

会話・非言語行動

SP-4. 咽喉音を用いた会話・摂食行動の認識 ○安藤純平（静岡大）・齊藤隆仁・川崎仁嗣・片桐雅二・池田大造（NTT ドコモ）・峰野博史・網川隆司・西田昌史・西村雅史（静岡大）

5. Joint Learning of Dialog Act Segmentation and Recognition Using Neural Networks

○Tianyu Zhao・Tatsuya Kawahara（Kyoto Univ.）

22 日午後 オーガナイズドセッション：音声言語情報処理が切り拓く新しい情報社会（13：30～）

SP-6. [招待講演] 表現豊かな音声合成に向けた多様な話者性とスタイルによる音声合成への取り組み

小林隆夫（東工大）

音声分析・合成

7. ホルマント平均に基づく声道長比推定法の検討 ○坂田 聡・上田裕市・渡邊 亮 (熊本大)
SP-8. 自然対話における発話の文脈を考慮した笑い声合成の検討 ○永田智洋・森 大毅 (宇都宮大)
9. 日本語インクリメンタル音声合成システム実装のための言語特徴の検討
○柳田智也・Sakriani Sakti・中村 哲 (奈良先端大)

◆NLC：情報処理学会；自然言語処理研究会連催

◆SP：情報処理学会；音声言語情報処理研究会連催

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2018年1月20日(土), 21日(日) 東大〔締切済〕テーマ：音声合成, 音声コミュニケーション, 聴覚, 音声一般

3月19日(月), 20日(火) 宮古島〔1月15日(月)〕テーマ：音声, 応用/電気音響, 信号処理, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>